

## マルチン病院 7 階礼拝室

マルチン病院に短期入院することになった。横に教会、修道院がある。ホームページで歴史を見ると (<http://sakaide-martinhp.jp/ideology/history.html>) 長い歴史があり、多くの高名な先生方がおられたことがわかった。

2017 年 6 月にオープンした新病院のことは医療雑誌の新医療に掲載されている (<http://sakaide-martinhp.jp/news/gekkanshiniryousu.pdf>) 弓型に建てられたとても斬新で明るい病院である。

クリスチャンの病院とはいえ、診療は一般の病院と何ら変わりはない。いろいろな科の診療が行われている。それでも病院のなかを歩いていると、あまり一般病院ではみられない心癒されるものがある。病棟の壁にあるマリア像などをみるとホッとさせられる。

3 階からは山側の屋外にできることができ、外にはイエス像が立っている、ベンチと椅子があり、坂出市街を広くみわたせ素晴らしい景観である。

中でも感動したのは病棟 7 階にある (7 階は緩和病棟と  
のことである) 礼拝堂である。大きくはないが、しっかりした造りの礼拝堂である。病院のなかに礼拝堂があるのは、昔の聖路加病院には大きな教会／礼拝堂があったのを知っている。 (各階壁面にマリア像)



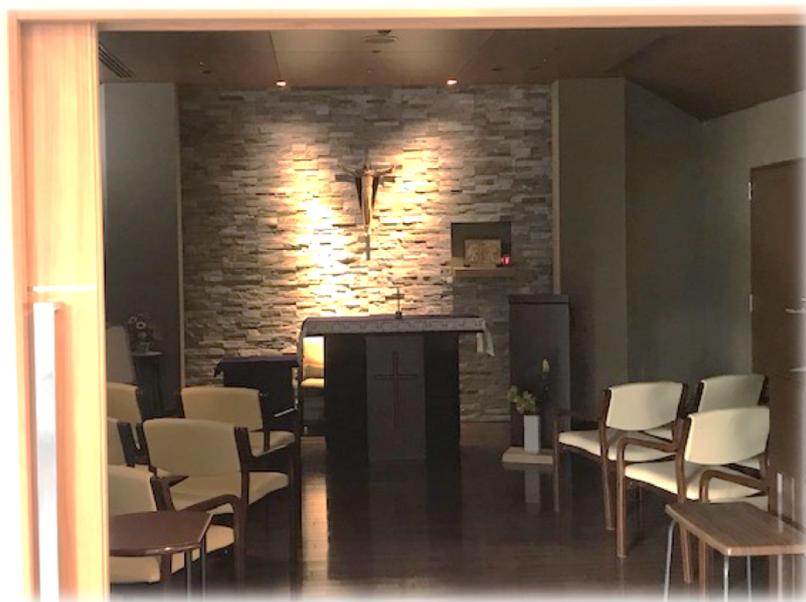
木曜日 14 時からいつも礼拝があるとのことなので参加した。私の参加したミサは追悼ミサということであった。先月マルチン病院で亡くなられた方々の追悼ということであった。10 数名がなくなれたようだが、皆さんがクリスチャンというわけではない。それでも、その方々の霊を慰めると、なんと素晴らしいことかと感動した。普通の病院では見られないことである。一般病院では亡くなればそれでおしまいで、後日このように祈っていただけるとはすばらしいことと思った。参列者は一般のクリスチャンの方々、そしてご遺族の方々がおられた。心療内科の医師でもある神父がつとめられ、99 歳のシスターである名誉院長そして数名の修道女の方々がおつとめされていた。(次ページに続く)



(3 階：屋外イエス像)

看護師さんやリハビリの方々にこのことを話すと、ほとんど誰も参加したことがないようだった。勤務時間中なので仕方ないことかもしれないが。職員が一度は参加して、マルチン病院がほかの病院とは違う、誇るものをもった病院だと認識してほしいものである。

貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。



(7階緩和ケア病棟：礼拝堂)



(3階：屋外からの坂出市街景観)

2019-4 平成の終わりに入院して